

2016年5月24日

関係各位

日本建築学会 都市計画本委員会委員長 嶋 心治
同 観光と地域プランニング小委員会主査 川原晋

2016年度日本建築学会大会 都市計画部門研究懇談会
「観光地域は都市計画 ・ まちづくりに何を期待するのか？」

資料集への御寄稿のお願い

拝啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本建築学会都市計画本委員会、観光と地域プランニング小委員会では、本年度の大会において、「観光地域は都市計画 ・ まちづくりに何を期待するのか？」と題した研究懇談会を主催いたします。

地域の振興や再生を進めるために観光に大きな期待がもたれていますが、本小委員会では、「観光」と「まちづくり・都市計画」の両方の理念、手法・技術やコンテンツを理解し、互いに参照し融合させていくことが、今後の観光まちづくりの現場に役立つのではないかと考え、議論を重ねて参りました。今回の研究懇談会では、特に、観光が主産業の観光地や、これから観光を重要な産業や施策として位置づけようとしている地域をやや広く「観光地域」と捉え、その課題や可能性を皆様と議論したいと思っております。

まず、趣旨説明では、「観光」と「まちづくり・都市計画」との関係、双方への期待等について整理を行い、ブレイクスルーすべき課題を明確にします。次に、主題解説では、観光地域の最前線で調査や計画立案に携わっている梅川氏（(公財)日本交通公社）に、観光計画がいま都市計画・まちづくりの担い手に何を求めるのか論じていただきます。その後、小委員会メンバーが、技術論、プロセス論、政策論など様々な視点から、観光まちづくりの現場から政策までをつなぐ理論的フレームワークの構築に資する議論を多角的に展開する予定です。

別府や由布院を事例に、観光地の発展段階に応じた都市計画・まちづくりの関わり方についての論考や、「水都大阪」を事例に、ビジョンと社会実験的实践（イベント等）をつなげることの重要性や、マスタープラン至上主義から事業性主義へのプロセスの転換を提起します。ここに、現場での長年の蓄積を経て法制度として結実したエコツーリズム推進法の下での試行錯誤のご報告も加え、これらを支えるための観光政策や制度のあり方について論じます。後半の議論では、これらの報告や論考を踏まえ、当委員会が提起しようと考えている「地域観光プランニング」のあり方について、議論を深めていきたいと考えております。

つきましては、こうした議論を深めるための具体的な事例や論考について、下記のとおり本研究懇談会の資料集へ掲載する論文等を募集いたしますので、上記主旨をご理解いただき、是非ともご寄稿をお願いいたします。

敬具

記

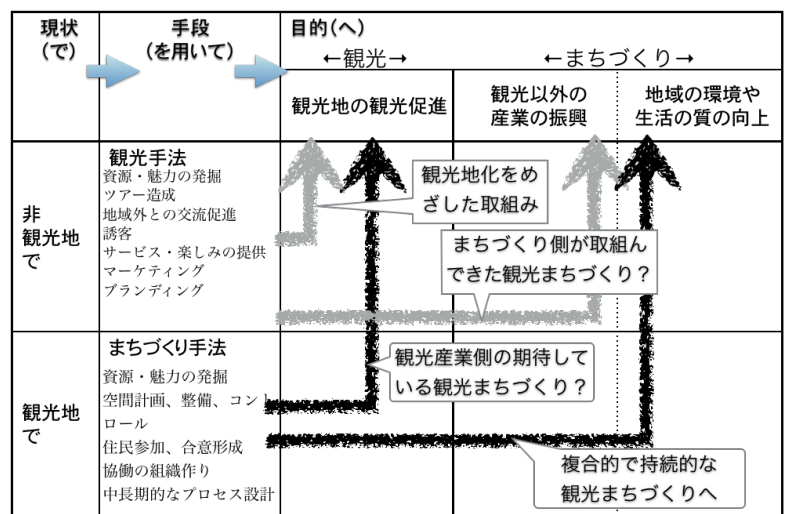
【論文等のテーマ】

御寄稿を依頼したい論文、報告等のテーマは、観光が主産業の観光地や、あるいは、これから観光を重要な産業や施策として位置づけようとしている地域（以下「観光地域」と呼ぶ）における、次のような視点の論考を期待します。

- ・観光地化した（しはじめた）ときに生じる諸相や課題、可能性についての報告や論考
- ・「観光地域」の発展における都市計画・まちづくりが有する技術、手法の活用についての事例や論考
- ・観光まちづくりの推進主体としての行政、民間企業、観光協会、エリアマネジメント組織、DMO等の役割（分担）に関する論考
- ・観光地域の発展を支える政策、制度に関する事例や論考
- ・観光まちづくりの持続性に対する論考

なお、都市計画・まちづくりや観光の有する手法・技術についての例は右図をご参照ください。（2015.10公開研究会資料より）

また、大都市圏から中山間地域の農山漁村までの幅広い事例や、それらの地で適用できそうなアイデアが集まることを期待しております。



【執筆要領】

建築学会学術推進委員会ホームページの「書式」ページに掲載の「資料作成用テンプレート」を使用するか、これと同じ体裁での執筆をお願いいたします。頂いた原稿をそのまま印刷します。

同ページURL : <http://news-sv.aij.or.jp/academic/shosiki/index.htm>

ページ数は、2または4ページとしてください。

印刷は白黒となりますので、カラー原稿であっても白黒印刷で判別できるものとして下さい。

本要領を逸脱する原稿は掲載しない場合がありますので、ご注意ください。

【提出期限と提出方法、寄稿の事前通知】

提出期限は6月27日(月)必着とします(学会への完成原稿提出期限が7月4日のため)。原稿は、Wordファイル及びPDFファイルの両方をEメールに添付し、末尾に記載の編集担当(永野)まで提出して下さい。なお、ファイルサイズが大きい場合は、適宜オンラインストレージ、大容量ファイル転送サービス等をご活用ください。

なお、御寄稿いただける場合は、氏名、所属、予定ページ数(2または4)及び表題(仮)について、6月6日(月)までに、編集担当(永野)宛て電子メールにてお知らせ下さい。

【論文等の選考】

御寄稿頂いた論文等は、原則、論文集へ掲載することを前提とします。しかしながら、内容が本研究懇談会の主旨と著しく乖離しているもの、あるいは社会通念上、不適切なものについては、寄稿者の了解を得ずに不掲載とする場合がございます。

【著作権等】

執筆者には、掲載された著作物の著作権を本学会に委託して頂きます。ただし、本学会は、第三者から文献等の複製・引用・転載に関する許諾の要請がある場合は、原著者に連絡し許諾の確認を行います。執筆者が、自分の著作物を自らの用途のために使用することについての制限はありません。

また、大会終了後に、AIJデジタルライブラリーにおいて全文公開を予定しておりますので、予めご了解ください。なお、全文公開に支障がある場合は、お申し出ください。

執筆に当たり、他の著作物を引用・転載する場合は、その著作物の著作権に十分配慮して執筆してください。

【資料集の頒布等】

資料集は、大会会場の資料頒布コーナーで販売いたします。残部が出た場合は、学会資料頒布所で販売します。学会の規定により、ご寄稿者への資料集贈呈はいたしかねますので、ご了承頂きますようお願いいたします。

【原稿料】

御寄稿頂いた論文等に対して、原稿料のお支払いはできませんことを予めご了承願います。

【お問い合わせ先・原稿提出先】

研究懇談会 資料集編集担当 永野 聡（三重大学） s.nagano2@gmail.com

以上

別紙

研究懇談会資料集の構成（案）

本研究懇談会資料集は、次の構成で編集することを想定しております。（敬称略）

【第一部】 研究懇談会の次第、主旨説明、主題解説論文

1. 次第

2. 主旨説明 川原 晋（首都大学東京）

3. 主題解説論文

- ①観光計画の今日的状況と課題 梅川智也（（公財）日本交通公社）
- ②観光地域における都市計画・まちづくりの技術～別府・由布院を事例に 姫野由香（大分大学）
- ③公民連携で観光まちづくりを進めるための方法～水都大阪を事例に 泉英明（（有）ハートビートプラン）
- ④法制度に基づくエコツーリズムの推進 海津ゆりえ（文教大学）
- ⑤観光まちづくりを実現するための観光政策 内海麻利（駒澤大学）

【第二部】 寄稿論文

（ご寄稿頂いた論文等は、ここに掲載します。）